



学校だより

平成25年
7月18日号
目黒区立第十一中学校

さらなる成長の夏休みに！

校長 豊島 修二

例年より早い梅雨明けとともに、毎日猛暑の日が続いておりますが、体調を万全にして夏休みを待っていることと思います。

新年度がスタートして4ヶ月になりますが、みなさんは、修学旅行・体育大会・八ヶ岳自然宿泊体験教室・職場体験と、大きな行事を始めとして、様々な行事を成功させてきました。そして、各行事毎に成長を重ねている十一中生は、さすがに「目黒区ナンバーワンの学校」と確信できます。また部活動でも、女子バレーボール・女子バスケットボール・女子テニス部が都大会出場権を勝ち取りました。各方面で一人一人がベストを尽くし、輝いております。

さて、夏休みに入りますが、今までの生活を振り返り、自分自身のさらなる成長のために、「十一中生らしく」充実した生活を送ってください。そのためには、しっかりした「計画」が必要です。自分に甘えることなく、学習・運動・趣味にと、頑張ってください。学校でも、面談・補習教室・部活動・水泳教室・(部活合宿)など多くの予定を組んでいます。時間を作って参加し、有効に活用して下さい。

保護者の皆様におかれましては、子どもの主体的な活動を尊重しながらも、日々の生活に目を配っていただきたいと思います。

特に携帯電話・インターネットなどの使用については、大きな事故・事件に巻き込まれることもあります。家庭のルールをしっかりと決めておいてください。相談などありましたら、いつでも学校へご連絡ください。

8月26日には、生徒一人一人が元気に登校でき、スムーズに学校生活に入れるように、よろしく願っています。

前期の学校生活を振り返って

生活指導主任 松本 彰弘

新1年生70名を迎えて始まった平成25年度も早いもので70日が過ぎ、まもなく夏休みに入ります。この3ヶ月余りを振り返ると、多くの学校行事に前向きに取り組む十一中生の笑顔が、校内のあちこちで見られました。一人一人が全力を出し尽くした体育大会、大自然の中で改めてその偉大さを感じ取った1年生の自然宿泊体験教室、働くことの楽しさと厳しさを身をもって学んだ2年生の職場体験学習、京都・奈良で日本の伝統文化に触れながら、自分たちの成長の軌跡を互いに確認し合った3年生の修学旅行。行事に追われた忙しさはあったものの、しっかり準備をした分、得たものも大きかったのではないのでしょうか。十一中生のよさは、「一つ一つの行事を終えるごとに成長していくこと」だと我々教職員は思っています。その意味で、この3ヶ月は十一中全体が成長を遂げた日々だったと言えるでしょう。この経験や達成感を生かして、これからも「明るく、元気に、前向きに」毎日の生活を過ごしましょう。

さて、「アリとキリギリス」という童話をご存じでしょうか。暑い夏の間もせっせと働いていたアリと遊んで暮らしていたキリギリス。最近ブラックユーモアで「アリは過労死してしまいました」などと語られていますが、童話では厳しい冬の寒さを乗り越えたのはもちろんアリのほうです。夏の間にも身につけたものは、後になって必ず役に立ちます。学習、部活動、習い事、読書、趣味、……。普段は多忙な生活をしていても、夏休みにはまとまった時間がとれると思います。37日間の夏休みを有意義に過ごし、自分がなすべきことをきちんとやり遂げる夏休みにしてください。「夏休みのしおり」をよく読み、毎日の生活記録欄を活用しながら、目標を持って、充実した夏休みを過ごしましょう。

ひまわりのごとく伸びゆく我が身かな

7月9日（火曜日）から11日（木曜日）まで第二学年で行った各事業所への職場体験のまとめです。

職場体験を振り返って

第二学年主任 浅野剛

5月から2ヶ月近くの準備を経て、7月9日から11日まで3日間の職場体験を実施しました。今年度は、朝から夕方まで3日間働かせてもらえることを条件に職場体験先を選びました。職場の提供には保護者の皆様のご協力をいただきありがとうございました。

道徳や学活で、「なぜ人は働くのか」、「職業への適性とは」などについて考え、希望の体験先を捜すところから始めました。

最終的に26の事業所にお世話になることになりました。初日は待ち合わせに失敗したり、職場の方の指示通りに動けず叱られたりといろいろありましたが、2日目からは順調に仕事ができるようです。

各職場を巡回していると、開店準備に一生懸命取り組む姿や、小さい子と楽しそうにふれあう姿が見られました。カメラを向けると少し誇らしげな顔で写真に収まっていました。

生徒にとって、仕事の厳しさやおもしろさなどいろいろなことを学べた貴重な体験になったと思います。ぜひこの経験を今後の生活に活かしてもらいたいと思います。



セーフティ教室

7月16日（火曜日）の14：30から格技室において、『中学生の犯罪防止、被害防止』という題名で「セーフティ教室」を行いました。

地元の警察署の碑文谷警察から3名の警察官と目黒区保護司会の方々においでいただき、表題のような内容で全校生徒に貴重なお話をいただきました。

まずビデオで『サイバー犯罪』の恐ろしさと予防法等を学び、警察や保護司の方からもさまざまな具体的なお話をいただきました。

第二部は警察・保護司・地域の方・教職員による懇談会です。もちろん『十一中の生徒を守るにはどうすればいいか』を大人で話し合いました。結論は「大人がしっかりとお手本をしめして守っていこう」ということになりました。夏休みもすぐです。みんなで見守っていきたいです。



